

西福寺



秋川不動尊火渡りは、春を呼ぶ多摩の風物詩として知られていて、後北条時代からの伝統を誇る護摩修行です。毎年1月に息災や招福、厄払など請願成就の願いをこめた護摩供を行ったあと、まだくすぶっている護摩の上を歩いて渡る火生三昧供（火渡り）を行う荒行です。一般の方も参加することができて、「息災」（災いをなくす）、「招福」（福をまねく）「鉤召（こうちょう）」（よい環境をつくる）、「厄払」などのご利益があるそうです。

火渡りが行われる西福寺は、開山から推定千年を経ているといわれる古刹です。開山当初は阿弥陀三尊を本尊とする天台宗のお寺でしたが、弘長元年(1261)に本尊を大聖不動明王とし真言宗に改宗されました。本尊の不動明王は交通安全などの他にも、子授けのご利益もあるといわれています。